

令和6年度 第24回東日本高等学校弓道大会県予選会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 2 開催日 令和7年1月18日(土) 男女団体予選決勝・男女個人予選決勝
- 3 日程 監督会議(各校顧問) …近的射場 8:00～
出場校受付(顧問のみ) …小会議室 監督会議終了後
開会式(代表選手1名) …近的射場 監督会議終了後
*係職員と当番校生徒は開場の準備が整い次第入場し、会場準備にあたる。(7時45分～入場予定)
*選手は8時00分以降当番校生徒入場後に入場できる。
*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
- 4 会場 A L S O Kぐんま武道館弓道場 前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム(1チーム4名以内…選手3名・補欠1名)
個人戦…団体出場者(団体戦の的中を個人戦の的中とし補欠戦は実施しない)
- 8 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 9 競技方法 3人立 4射場 立射
団体戦 予選…1チーム24射(各自8射)を行い、上位8チームを通過とする。
*決勝トーナメントの組み合わせは的中順とし、同中の場合は立順の早いチームを上位とする。
*競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームを上位とする。
団体戦 決勝…1チーム12射(各自4射)のトーナメント方式とする。
*同中の場合は1本競射を行い、勝敗を決定する。競射の1本目は替矢を使用するので替矢を準備する。
*5～8位決定戦のみ1チーム6射(各自2射)とする。同中の場合は予選の合計的中数で順位を決定する。
予選の合計的中数も同じ場合は1本競射を行い順位を決定する。
*選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
*団体戦に限り時間制限をおこなう。
○5分30秒で予鈴、6分で本鈴の合図をし、本鈴と同時発射は無効とする。
○時間制限により無効となった矢は、団体戦の的中を個人戦の的中とするため個人戦の的中も無効とする。
○団体合同チームの計時は参考とするが、著しく遅い場合は本部より顧問を通して注意する。
個人戦 団体予選の個人合計の的中で順位を決定する。
*同中の場合は遠近競射(多人数の場合は複数の使用)で順位を決定。
- 10 競技順序 ①男子団体予選1回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)
②女子団体予選1回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)
③男子団体予選2回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)
④女子団体予選2回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)
⑤男女決勝進出8チームが決定しない場合の競射(男女同時に実施することがある)
⑥男女個人の順位決定の遠近順位決定(男女同時に実施することがある)
⑦男子団体決勝トーナメント1回戦(各自4射)
⑧女子団体決勝トーナメント1回戦(各自4射)
⑨男子団体5～8位決定戦(各自2射)
⑩女子団体5～8位決定戦(各自2射)
⑪男子団体準決勝(各自4射)
⑫女子団体準決勝(各自4射)
⑬男子団体決勝戦(各自4射-第1・2射場)・3～4位決定戦(各自4射-第3・4射場)
⑭女子団体決勝戦(各自4射-第1・2射場)・3～4位決定戦(各自4射-第3・4射場)
⑮閉会式・表彰式
*代表権獲得校監督会議は実施せず後日電子メールで連絡する。

11 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする。）
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする。）
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

12 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
大会申込までに群馬県高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。
年齢は早生まれの者は17歳以下とし、それ以外の者は18歳以下とする。
選手の学年は高校2年生以下とする。同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

13 表彰 男女ともに

団体1位 賞状・楯・優勝カップ（持ち回り-前年度優勝校にレプリカ贈呈）
団体2位～3位 賞状・楯
団体4位～8位 賞状
個人1位～5位 賞状・メダル

*昨年度団体優勝校「男・健大高崎」「女・渋女」は優勝カップの返還をする。

14 代表権 男女ともに団体戦上位2校に代表権が与えられる。（個人戦の代表権はない）

*本大会に3人エントリーできない学校は、代表権は得られない。→下位より繰り上がる。

*本大会に5人エントリーできない学校は、5人立の代表権は得られない。→5人立のみ下位より繰り上がる。

*上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。

*第24回東日本高等学校弓道大会 令和7年3月22日（土）～24日（月）於・山形県山形市

15 参加料 男女ともに1校2,000円（当日受付に払込むこと）

16 申込方法 申込ファイルに入力の上、令和7年1月9日（木）16:00（期限厳守）必着で下記宛にメールする。

申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp

17 プロ編成 令和7年1月14日（火）13:30より市立太田高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。

18 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。

②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。

③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。

④弓具には記名しておくことが望ましい。（忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく）

⑤楯の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手楯、小指付根押手楯、ゴム底足袋の使用は禁止する。

⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。

⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。

（制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける）

⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。

弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。

競射で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。

的中の異議申し立ては矢取り開始前に介添えが行う。

介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。

⑨服装等については顧問総会の取り決めに従うものとする。

⑩控や控室、矢取や看的待機場所での私語はしない。

⑪貴重品の管理は各自で行うこと。

⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。

⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。

◎大会申込書の提出で、校名・学年・氏名の個人情報取り扱いについて、承諾を得たものとする。

プログラム・事務連絡文書への記載、プログラム・結果のWebページ掲載に使用する。

※プログラムをWeb公開する場合にはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。